

日本原子力発電株式会社 東海第二発電所
中央制御室における火災に係る立入調査結果について

令和 7 年 2 月 5 日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和 7 年 2 月 4 日に日本原子力発電（株）東海第二発電所の中央制御室において火災が発生したことについて、県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和 7 年 2 月 4 日（火） 16 時 00 分～17 時 25 分

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。また、火災が発生した制御盤の現物を確認した。

○ 環境影響

- ・ 火災事象発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められない。

○ 施設等への影響

- ・ 本火災事象は、初期消火により消火されており、中央制御室内のその他の設備、建屋への影響は確認されていない。
- ・ 火災が発生した制御盤は、移動式炉心内計装（原子炉内の中性子を計測するモニタの校正に用いる装置）に係る隔離弁を作動させるためのものであり、現状、施設の維持管理に用いるものでなく、原子力施設への影響はない。

○ 現在の措置状況

- ・ 火災が発生した制御盤の弁操作に係る箇所について、通電を遮断する措置が取られている。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。